| 学校番号 | １０８ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 学年 | １年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書道Ⅰ（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1.担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 古典(楷書、行書)を鑑賞、臨書することにより用筆、用法を学ぶ
- 様々な筆や筆に代る用具を用いて表現方法を工夫する
- 自他の作品を鑑賞することにより表現の幅を広げる

2.学習の到達目標

- 書道と書写の相違の認識
- 用筆法、執筆法の習得
- 古典作品の鑑賞と臨書
- 自選語句による作品製作
- 現代作品の鑑賞

3.学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b：書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d：鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創作的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け、表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート | 観察<br>レポート<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>提出作品 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

４．学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容・活動 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 書写から書へ<br>書体の変遷<br>記念作品 | 姓名の五體調べから漢字の成立、変遷を学習<br>記念作品の制作<br>執筆法、姿勢の習得 | ○ | | | ○ | a：書写と書道の類似点、相違点を理解して漢字の成立に興味をもとうとしている。<br>b:書写の基本を踏まえ書としての表現を工夫している。<br>c:執筆法、姿勢の基本を身につけ表現している。<br>d:書と書写の相違を理解し書の良さを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>提出作品 |
| | 篆刻 | 篆書体を用い姓名印の作成 | ○ | ○ | ○ | | a:書体の変遷について理解し姓名印の役割に関心を持っている。<br>b:篆書の特徴を生かし草稿、印稿、運刀を工夫している。<br>c:印刀使い方を理解し、運刀を工夫している。<br>d:篆刻の意義や手順について理解している。 | 観察<br>レポート<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 漢字創作<br>第一学区書道作品展出品及び鑑賞<br>うちわ | 用筆法(筆圧・墨量・速度)・紙面構成・字形・の工夫<br>表情の研究<br>作品展鑑賞<br>墨と彩色によりうちわ作成 | ○ | | ○ | ○ | a:古典に基づく学習の意義に関心を持っている。<br>b:用筆、字形、紙面構成などを理解して表現を工夫している。<br>c:うちわ作成を通して、用と美を表現しようとしている。<br>d:生活の中の書のうちわと創作作品としての書の融合を理解している。 | 観察<br>提出作品<br>レポート |
| | 生活の中の書：暑中葉書 | 文字と彩色の調和<br>宛名書き | ○ | | ○ | | a:漢字の学習、作品展の鑑賞で学習したことを暮らしの中に生かそうとしている。<br>b:用と美に基づき表現を工夫している。葉書の宛名書きの書式を理解して書くようにしている。<br>c:用途に応じて効果的な表現を工夫している。葉書の実用書式を踏まえ書くことができる。<br>d:暑中葉書として用と美を兼ね備えていることを理解している。 | 観察<br>提出作品 |
| 2学期 | 展覧会鑑賞(夏期休暇) | 書、絵画、写真等の展覧会を鑑賞してレポート作成 | ○ | | | ○ | a:様々な芸術作品に触れることにより鑑賞する喜びを味わい、芸術作品の伝統や文化に関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組もうとしている。<br>d:書として学習したことを基に書、絵画彫刻、写真等幅広く鑑　賞して書の良さや独自性を理　解しようとしている。 | 観察<br>レポート |
| | 漢字仮名交じりの書 | 自作俳句を作品に制作 | ○ | ○ | ○ | | a:自分の気持ちを俳句で表現することで書の表現を工夫しようとしている。<br>b:自作の俳句に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>c:漢字作品で学習した用筆、運筆を基に自作俳句に効果的な表現技術を工夫している。<br>d:俳句に込められた想いを理解し、書の表現と想いの融合を理解している。 | 観察<br>提出作品<br>レポート |
| | 行書 | 行書古典臨書<br>一字書作品制作 | ○ | ○ | | | a:古典作品を鑑賞し、字形、用筆の特徴に関心を持ち、身に着けようとしている。<br>b:各古典の特徴をつかみ書風を生かした表現を工夫している。<br>c:各古典の特徴、書風を生かした表現することができ、創作作品への展開を工夫している。<br>d:様々な行書を鑑賞し、書風の違いを理解している。字形、用筆の特徴を理解している。 | 観察<br>提出作品 |
| | 行書創作<br>表具 | 半紙サイズから大字作品に展開<br>作品表具(4人1組で共同作業) | ○ | ○ | ○ | ○ | a:行書作品の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。<br>b:書の構想、作品のイメージを練り推敲を重ねている。<br>c:表現する文字のイメージを膨らませ、自分らしく表現することができる。<br>d:行書創作の準備と手順を理解している。 | 観察<br>提出作品<br>レポート |
| | 生活の中の書：年賀状 | 墨と彩色・宛名書き | ○ | ○ | ○ | | a:年賀状のよさに関心を持とうとしている。年賀状に表現される文言や次年度干支に関心を持ち、表現に生かそうとしている。<br>b:書道学習で身に着けたことを暮らしの中の書に生かそうとしている。<br>c:挨拶文の表現に書創作で学習したことを生かしながら、宛名書きの実用書も表現できる。<br>d:書道で学習したことが暮らしの中に生かされていることを理解している。 | 観察<br>提出作品<br>レポート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 漢字、仮名交じり文の書 | 用筆、構成、表情等の研究により自己表現が出来るように工夫する | | ○ | ○ | | a:漢字かな交じりの書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>b:作品のイメージを表現出来るように工夫している。<br>c:自分のイメージを表現するために用筆、運筆、構成などを工夫している。<br>d:色々な表情の作品を鑑賞、理解できる。 | 観察<br>提出作品<br>レポート |
| | 来年度のカレンダー制作 | 墨の濃淡、彩色、コラージュ、筆以外の用具を使用して作品制作<br>カレンダー作品鑑賞 | | ○ | ○ | ○ | a:カレンダーの用と美に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>b:12ヵ月をイメージして表現できるよう工夫している。<br>c:各月のイメージを表現出来るように用具、用材、用筆、運筆、構成などを工夫している。<br>d:カレンダーを全員で鑑賞し、意見交換することができる。 | 観察<br>提出作品<br>レポート<br>鑑賞意見発表 |

＊表中の観点について
a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

＊原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価をおこなう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について○をつけている。